

令和5年度 公表基準に基づく医療事故等の包括公表

1 レベル別集計 ※1

レベル分類	患者影響度	医療センター	八幡病院
		報告件数(件)	
0	行為には至らなかった	371	221
1	一般的な検査を要したが影響がなかった	1,188	789
2	精密検査を要したが影響がなかった	132	62
3の1	軽微な処置・治療を要したが治癒	175	95
3の2	濃厚な処置・治療を要したが治癒	25	22
4の1	寛解・軽度の障害が残った	1	2
4の2	重大な障害が残った	2	1
5	死亡	4※2	0
合 計		1,898	1,192

※1 過失の有無にかかわらず、全事例報告することとしています。

※2 死亡は原病の進行によるもので、処置時の対応に問題はなく無過失です。

2 分類別集計

種 別	医療センター		八幡病院	
	報告件数(件)	事故割合(%)	報告件数(件)	事故割合(%)
与薬	410	21.6	236	19.8
転倒・転落	367	19.3	141	11.8
チューブ・ライン類	277	14.6	261	21.9
調剤・製剤管理	64	3.4	75	6.3
検査	86	4.5	100	8.4
食事	48	2.5	24	2.0
処置・処方	67	3.5	64	5.4
採血	60	3.2	34	2.9
手術	63	3.3	32	2.7
その他	456	24.0	225	18.9
合 計	1,898	100.0	1,192	100.0

3 医療安全向上のための主な業務改善

種 別	項 目	病院内で工夫された改善例
転倒・転落	防止対策	- 患者用体重計に転倒転落ガードを設置 - 多職種による転倒転落ラウンドにより対策評価を開始
チューブ・ライン類	ベッド移乗対策	- 医療安全対策WGでベッド移乗の学習、シミュレーションを実施 - 移乗時のリーダー決定やタイムアウト実施に向け、ポスター及び動画研修で可視化 - 広報誌による院内周知
検査	HBV 再活性化リスク対策	- 採用薬のうちリスク記載のある薬剤一覧を作成、更新 - 処方時、アラートがでるようマスクを変更 - ガイドラインに従い対策を講じるよう再周知
手術	術前休薬漏れ防止対策	- 手術や検査の延期防止のために、薬剤師介入による入院前支援を実施 - 術前休薬漏れ防止症例を分析し「周術期休薬におけるSGLT2阻害薬とビグアナイド薬一覧」を作成し、院内周知
手術	術後管理	- 頸椎術後管理において、医療事故再発防止に向けた提言に基づく管理体制を整備 - 集中治療室入室基準の見直し提案
その他	患者誤認防止対策	- 安全で正確な患者確認を実施するため、全職員を対象とした研修会を開催 - 外来診察室に誤認防止ポスターを掲示
その他	酸素ボンベ管理	- 院内迅速(RRS)チームによる酸素ラウンドを実施 - 点検不備時、インシデントレポートで報告し、不備内容を共有 - 広報誌による院内周知